

検定協会だより

7

令和2年7月
第475号



検定協会だより

7

令和2年7月
第475号



NFS 日本消防検定協会

令和2年7月号

<http://www.jfeii.or.jp>

目次

巻頭のことば

- 1 「災害に強く、安全に暮らせるまち」実現のために
～すべては住民のために しなやかに力強く～

高知市消防局長 本山 和平

協会情報

- 4 令和元年度の受託評価業務を振り返って

警報設備部
消火・消防設備部
虎ノ門事務所

おしらせ

- 21 有効期限を経過した受託評価品目

- 22 協会通信・業界の動き・
消防庁の動き

- 26 検定・性能評価・受託評価数量
(令和2年6月)

- 24 新たに取得された型式一覧

「災害に強く、安全に暮らせるまち」 実現のために

～すべては住民のために しなやかに力強く～



高知市消防局長
本山 和平

はじめに

高知市は、高知県の中央南部に位置し、面積309km²、人口約33万人を有し、「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」を将来の都市像と定め、にぎわいに満ちた元気あふれる高知市の実現のために鋭意取り組んでいます。

古来より月の名所として知られる「桂浜」、よさこい節で唄われた「はりまや橋」、そして、幕末の志士「坂本龍馬」の出身地としても知られ、高知の街は「りょうま」一色です。毎年8月には高知の夏の風物詩「よさこい祭り」が行われ、毎年県内外、さらには海外からも約200チーム、約2万人の踊り子たちが参加し、見物客は約120万人を数えます。

組織の再編

当市の常備消防体制は、昭和23年の消防組織法施行とともに消防本部を設置したことに始まり、今年で72周年を迎えます。

この間、高度経済成長による都市化の進展や近隣町村の合併による市街地や市域の拡大、鉄道高架や幹線道路の整備による都市機能の充実が進む一方、増加していた人口は平成20年の344,653人をピークに減少に転じ、少子高齢化の進展とともに救急需要の増大や複雑多様化・大規模化する災害への対応など、消防行政を取り巻く環境は目まぐるしく変化してきました。

こうした環境変化に対応すべく、高知市消防局は、安全安心の都市空間整備を目指し組織体制について幾度となく検討を重ね、変化に対応し得る組織へと変換してきました。

昭和37年の「高知市消防審議会」の消防署所をどう配置すべきか等の検討から始まり、平成10年に20年後の都市像を想定した新たな消防署所の適正な配置について、高知市消防整備計画策定懇話会からの「高知市消防整備計画策定への提言」を受け、平成11年に

「高知市消防整備計画1999」を、その後、平成23年の東日本大震災の教訓から、市町村合併により増大した市域への消防署所の適正配置と合わせた南海トラフ地震対策としての防災拠点の強化を目指した「消防署所再編構想（素案）」を基に、平成27年に「高知市消防署所再編計画2015」を策定しました。この再編計画を基に、第一期として、平成27年4月に高知市南部地域の拠点として「高知市南消防署南部分署」を、第二期として、平成29年10月に高知市北部地域の拠点として「高知市北消防署」を開署し、平成30年4月には、職員定数を354名から369名に増員し、平成31年4月には、一元的な災害対応と指揮能力の強化を目指して、情報指令課と警防課指揮班を統合し「総合指令課」を、増大する救急需要と高度化へ対応するため「救急課」を新設し、消防局を4課から5課にするとともに係を新設するなど、本部体制を強化したところです。

そして、令和元年10月1日に「高知市中央消防署」を開署するとともに「高知市南消防署南部分署」を「高知市南消防署」に格上げしたことで、「高知市消防署所再編計画2015」で予定した「高知市中央消防署西出張所」の分署格上げとそれに見合う人員増を除き、これまでの1本部4課3署1分署4出張所から1本部5課4署4出張所体制となり、消防署所の再編が完了したところです。

このようにハード整備は順調に整ってまいりましたが、火災件数の減少や大量退職等に伴う技術の伝承等のソフト面が課題となっており、来たる南海トラフ地震に備えるためにも、今一度、職員全員が市民の負託に応えるべくそのソフト面の強化に取り組んでいます。

ソフト面強化への取組み

これまで課題と言われてきた「人材育成」「指揮能力の向上」など、ソフト面の強化を昨年度から重点的に取り組むこととしており、さらには、職員一人ひとりが前例踏襲的な考え方を払拭し、全体の奉仕者としての自覚のもと、これまでの伝統を受け継ぎ、消防行政の発展につなげることとしています。

また、高知市が目指す都市像「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」の実現には、消防行政の担う役割が重要であり、その発展が不可欠となることから、平成30年から様々な社会問題や消防局の課題への的確な対応方針、さらには他消防本部との連携や広域化も見据え、将来にわたり持続的に発展できる組織の基本的な方向性を示す「高知市消防局総合戦略2021」の検討を始め、今もなお検討を続けているところです。

今年度に入り、組織で働く人々が様々な意思決定や諸活動を実践する際の拠り所や道標となる、また、組織の方針や職員の指針を考える上で大前提となる「理念」を高知市

消防局として決定いたしました。

「すべては住民のために しなやかに力強く」

「私たち高知市消防局は 謙虚に研鑽を重ね 安全と安心を追求します」

この「理念」は、高知市消防局という私たちの「組織」と「組織を構成する私たち職員一人ひとり」が、『すべては住民のために』『安全と安心を追求する』という高い理想を持ち、その理想に向かって、私たちは『しなやかに力強く』あるべく、常に自身を省み、不断の努力により成長・進化し続けていくという信念（覚悟）を表しています。

昭和23年12月28日の高知市消防本部の設置以来、諸先輩方が幾多の困難を乗り越え築いてこられた伝統と歴史をしっかりと受け継ぎ、今後は「理念」を軸として、職員一人ひとりの思考と行動の変革に加え、しなやかさと力強さを併せ持った組織の醸成に取り組み、消防行政の発展に寄与してまいりますので、引き続き、皆様の御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、日本検定協会の益々の御発展と全国の消防関係者の皆様の御活躍を祈念申し上げ、巻頭の言葉とさせていただきます。



令和元年度の受託評価業務を振り返って

警 報 設 備 部
消 火 ・ 消 防 設 備 部
虎 ノ 門 事 務 所

はじめに

令和元年度における受託評価業務の依頼状況は以下のとおりです。

1. 依頼状況の概要

区 分	依頼件数 又は個数
品質評価における型式評価・型式変更評価の依頼状況（自主表示対象機械器具を含む）	150
認定評価における型式評価・型式変更評価の依頼状況	47
特定機器評価における型式評価・型式変更評価の依頼状況	3
品質評価における型式適合評価等の依頼状況（自主表示対象機械器具を含む）	8,871,194
認定評価における型式適合評価の依頼状況	2,484,632
特定機器評価における型式適合評価の依頼状況	284,638
品質評価における更新等の依頼状況	307
認定評価における更新等の依頼状況	229
特定機器評価における更新等の依頼状況	12
自主表示対象機械器具の型式評価・型式変更評価の依頼状況	102
自主表示対象機械器具の型式適合評価の依頼状況	2,051,788
特殊消防用設備等の性能に関する評価の依頼状況	0
特定機器評価における総合評価の依頼状況	7

2. 品質評価業務関係

2-1. 型式評価・型式変更評価

(1) 補助警報装置及び中継装置

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(2) 音響装置

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(3) 予備電源

- ・依頼件数は3件で、前年度は6件でした。
- ・不合格は2件でした。

不良内容

ア 低温における充電及び完全放電試験の放電試験で、放電終止電圧になる時間が10分以上でないもの（1件）

イ 構造試験においてセルから液漏れするもの（1件）

(4) 外部試験器

- ・依頼件数は1件で、前年度は0件でした。
- ・不合格は0件でした。

(5) 放火監視機器

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(6) 光警報装置及び光警報制御装置

- ・依頼件数は0件で、前年度は2件でした。

(7) 屋外警報装置及び屋外警報装置に接続する中継装置

- ・依頼件数は0件でした。

(8) 消火器加圧用ガス容器

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(9) 蓄圧式消火器用指示圧力計

- ・依頼件数は0件で、前年度は1件でした。

(10) 消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(11) 消火設備用消火薬剤

- ・依頼件数は0件で、前年度は3件でした。

(12) 住宅用スプリンクラー設備及び同構成部品

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(13) 特殊消防ポンプ自動車等に係る特殊消火装置

- ・依頼件数は28件で、前年度は31件でした。
- ・不合格はなかった。

(14) 可搬消防ポンプ積載車

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(15) ホースレイヤー

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(16) 消防用積載はしご

- ・依頼件数は0件で、前年度は1件でした。

(17) 消防用接続器具

- ・依頼件数は16件で、前年度は7件でした。
- ・不合格はなかった。

2-2. 型式適合評価・確認評価

(1) 補助警報装置及び中継装置

- ・ 依頼個数は前年度と同様0個でした。

(2) 音響装置

- ・ 依頼個数は4,420個で、前年度の3,470個に対し27.4%増加した。
- ・ 不合格はなかった。

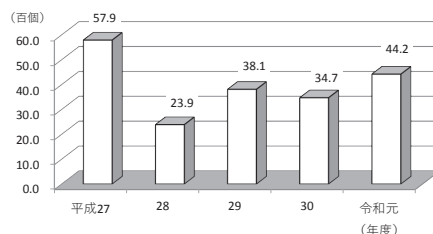


図-1 音響装置

(3) 予備電源

- ・ 依頼個数は256,327個で、前年度の268,688個に対し4.6%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

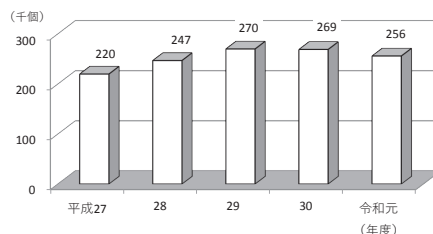


図-2 予備電源

(4) 外部試験器

- ・ 依頼個数は1,311個で、前年度の1,095個に対し19.7%増加した。
- ・ 不合格はなかった。

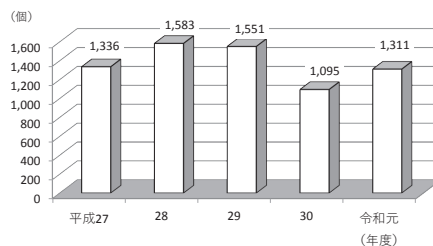


図-3 外部試験器

(5) 放火監視機器

- ・ 放火監視センサーの依頼個数は5,709個で、前年度の4,168個に対し37.0%増加した。
- ・ 受信装置等の依頼個数は40個で、前年度の20個に対し100.0%増加した。
- ・ 不合格はなかった。

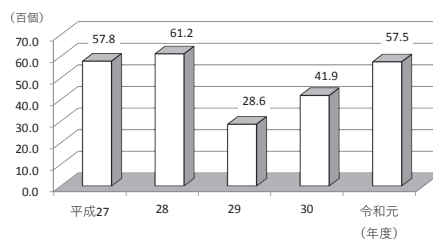


図-4 放火監視機器

(6) 光警報装置及び光警報制御装置

- ・光警報装置の依頼個数は10,000個で、前年度の2,004個に対し399.0%増加した。
- ・光警報制御装置の依頼個数は160個で、前年度の200個に対し20.0%減少した。
- ・不合格はなかった。

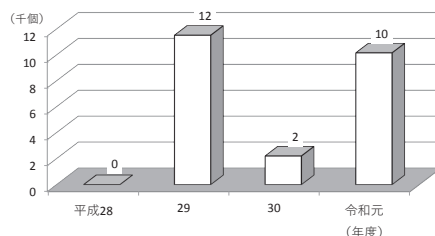


図-5 光警報装置及び光警報制御装置

(7) 屋外警報装置及び屋外警報装置に接続する中継装置

- ・依頼個数は0個でした。

(8) 消火器加圧用ガス容器

- ・依頼個数は648,561個で、前年度の603,150個に対し7.5%増加した。
- ・不合格は1件38個でした。

不良内容

ア 充填ガス質量が基準値の70%以上で許容範囲の下限値未満のもの(1件)

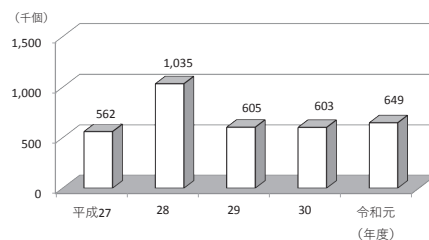


図-6 消火器加圧用ガス容器

(9) 蓄圧式消火器用指示圧力計

- ・依頼個数は4,801,100個で、前年度の4,779,182個に対し4.6%増加した。
- ・不合格はなかった。

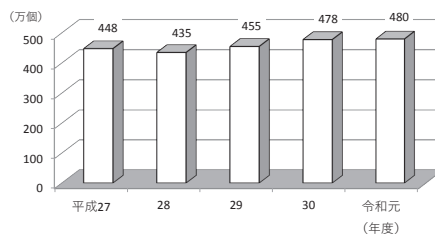


図-7 蓄圧式消火器用指示圧力計

(10) 消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁

- ・ 依頼個数は45,015個で、前年度47,389個に対し5.0%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

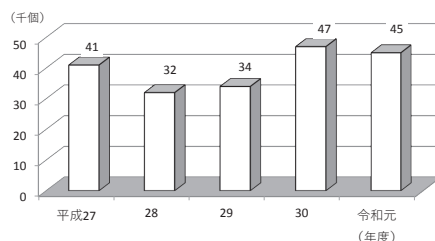


図-8 消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁

(11) 消火設備用消火薬剤

- ・ 依頼個数は997,728個で、前年度の1,161,653個に対し14.1%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

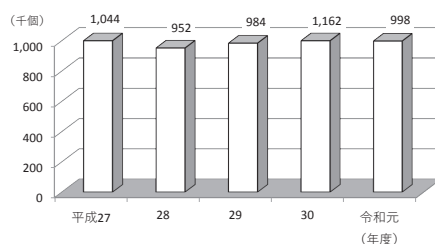


図-9 消火設備用消火薬剤

(12) 住宅用スプリンクラー設備及び同構成部品

- ・ 依頼個数は前年度と同様0個でした。

(13) 特殊消防ポンプ自動車等に係る特殊消火装置

- ・ 依頼台数は358台で、前年度379台に対し5.5%減少した。
- ・ 不合格は2件2台でした。

不良内容

ア 漏水試験において、水槽又はその配管から水が漏れるもの(1件)

イ 混合性能検査において、混合比が規定値外のもの(1件)

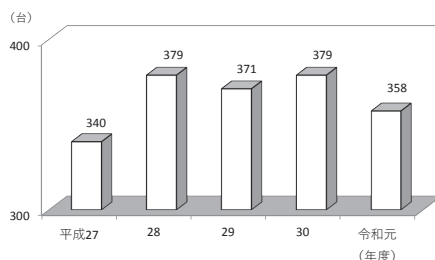


図-10 特殊消防ポンプ自動車等に係る特殊消火装置

(14) 可搬消防ポンプ積載車

- ・ 依頼台数は27台で、前年度の30台に対し10.0%減少した。
- ・ 不合格は1件1台でした。
不良内容
ア 耐圧試験において、漏水するもの（1件）

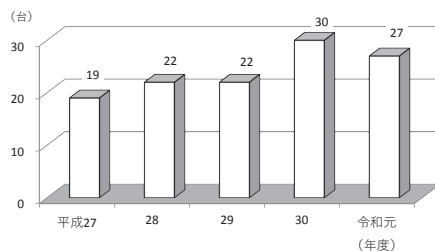


図-11 可搬消防ポンプ積載車

(15) ホースレイヤー

- ・ 依頼台数は56台で、前年度の61台に対し8.2%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

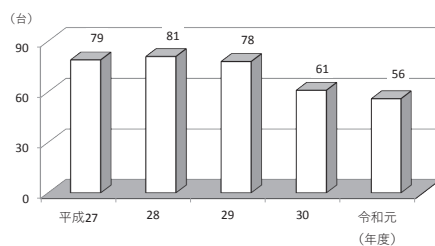


図-12 ホースレイヤー

(16) 消防用積載はしご

- ・ 依頼個数は2,507個で、前年度2,897個に対し13.5%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

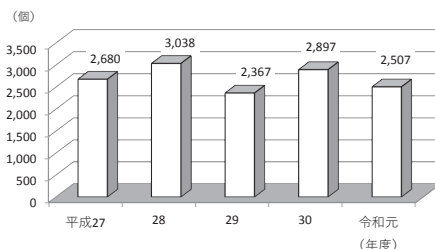


図-13 消防用積載はしご

(17) 消防用接続器具

- ・ 依頼個数は45,695個で、前年度の42,261個に対し8.1%増加した。
- ・ 不合格は2件264個でした。
不良内容
ア 形状・構造が型式承認されたものと異なるもの（1件）
イ 曲げ試験において破損、離脱又は亀裂により、着脱等の機能を果たさないもの（1件）

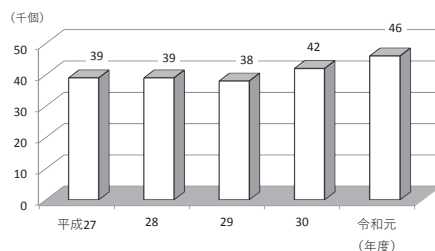


図-14 消防用接続器具

(18) 外部試験器の校正

- ・ 依頼個数は334個で、前年度の259個に対し29.0%増加した。
- ・ 不合格はなかった。

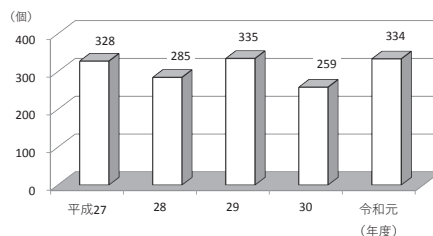


図-15 外部試験器の校正

(19) オーバーホール等整備を行った特殊消防自動車に係る特殊消火装置

- ・ 依頼個数は58台で、前年度の60台に対し3.3%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

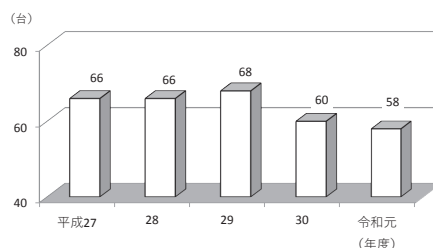


図-16 オーバーホール等整備を行った特殊消防自動車に係る特殊消火装置

3. 自主表示対象機械器具の品質評価業務関係

3-1. 型式評価・型式変更評価

(1) 動力消防ポンプ

(1-1) 消防ポンプ自動車

- ・ 依頼件数は前年度と同様5件でした。
- ・ 不合格は1件でした。

不良内容

ア 真空ポンプの機能試験において、構造又は機能に異常を生じるもの（1件）

(1-2) 可搬消防ポンプ

- ・ 依頼件数は5件で、前年度は2件でした。
- ・ 不合格は0件でした。

(2) 消防用吸管

- ・ 依頼件数は前年度と同様0件でした。

(3) 消防用ホース

- ・依頼件数は36件で、前年度は58件でした。
- ・不合格は6件でした。

不良内容

- ア より合わせ本数が申請値と異なるもの（1件）
- イ 10cm 当たりの打込数が申請打込数の±7%の範囲をはずれるもの（1件）
- ウ 設計破断圧以下で破断するもの（1件）
- エ 密着強さが規定値未満のもの（2件）
- オ 内張りの厚さが規定値未満のもの（1件）

(4) 消防用結合金具

- ・依頼件数は36件で、前年度は4件でした。
- ・不合格は0件でした。

(5) 漏電火災警報器

- ・依頼件数は19件で、前年度は4件でした。
- ・不合格は2件でした。

不良内容

- ア 試験ボタンが押下できず、受信機の前面において手動により容易に試験できないもの（1件）
- イ 復帰ボタンが常に押下状態のため、受信機の前面において手動により容易に試験できないもの（1件）

(6) エアゾール式簡易消火具

- ・依頼件数は1件で、前年度は0件でした。

3-2. 型式適合評価

(1) 動力消防ポンプ

(1-1) 消防ポンプ自動車

- ・依頼台数は1,091台で、前年度の1,100台に対し0.8%減少した。
- ・不合格は6件7台でした。

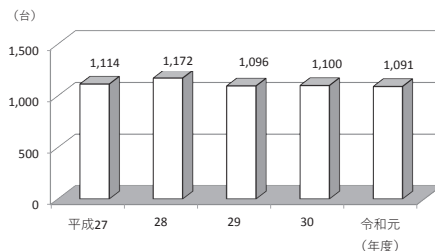


図-17 消防ポンプ自動車

不良内容

- ア キャブ外に設けた乗員席と運転席を有するキャブ内とで連絡できないもの（1件）
- イ 外観検査において、ポンプのドレーンコックの操作装置の構造が規格外のもの（1件）
- ウ 操作試験において、スロットルが操作できないもの（1件）
- エ 操作試験において、真空ポンプが作動又は停止しないもの（2件）
- オ 受検品が型式承認されたものと異なるもの（1件）

(1-2) 可搬消防ポンプ

- ・ 依頼台数は3,692台で、前年度の4,163台に対し11.3%減少した。
- ・ 不合格は2件2台でした。

不良内容

- ア 連続放水運転試験において、運転中に水が漏れるもの（1件）
- イ 機器等の基本的な機能を果たさないもの（1件）

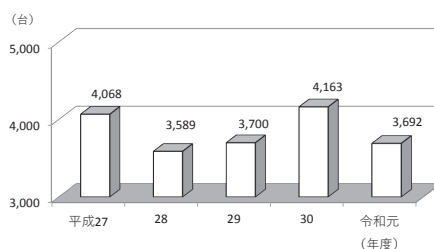


図-18 可搬消防ポンプ

(2) 消防用吸管

- ・ 依頼本数は8,640本で、前年度の8,486本に対し1.8%増加した。
- ・ 不合格はなかった。

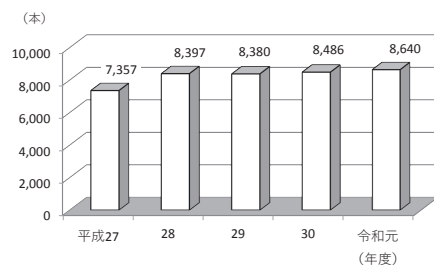


図-19 消防用吸管

(3) 消防用ホース

- ・ 依頼本数は575,528本で、前年度の683,615本に対し15.8%減少した。
- ・ 不合格は7件7本でした。

不良内容

- ア 外観検査において、ジャケットに織りむらのあるもの（2件）
- イ 外観検査において、外傷があるもの（1件）
- ウ 外観検査において、夾雑物の混入があるもの（2件）
- エ 耐圧検査において、噴水状の漏水を生じるもの（1件）
- オ 耐圧検査において、にじみ又は漏水を生じるもの（1件）

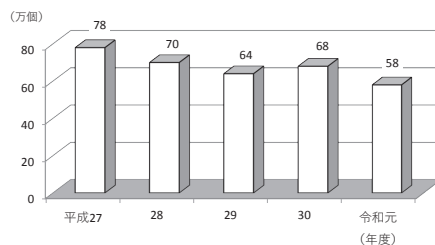


図-20 消防用ホース

(4) 消防用結合金具

- ・ 依頼個数は1,149,843個で前年度の1,346,040個に対し、14.6%減少した。
- ・ 不合格は2件168個でした。

不良内容

- ア 機能に支障を及ぼすおそれのある部品忘れのあるもの（1件）
- イ 機器等の構造が型式承認されたものと異なるもの（1件）

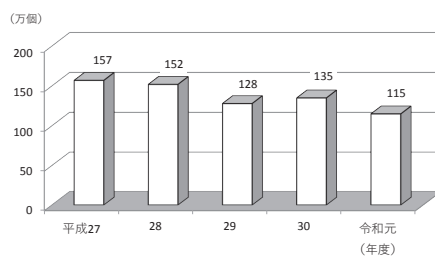


図-21 消防用結合金具

(5) 漏電火災警報器

- ・ 変流器の依頼個数は44,192個で、前年度の41,549個に対し6.4%増加した。
- ・ 受信機の依頼個数は39,578個で、前年度の33,925個に対し16.7%増加した。
- ・ 不合格は1件150台でした。

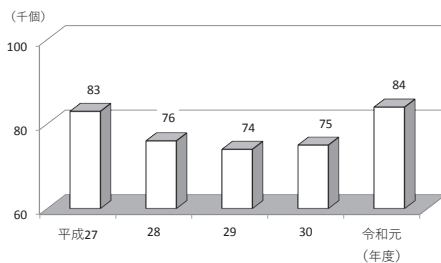


図-22 漏電火災警報器

不良内容

ア 表示の未記入のもの（端子警告シールの貼付漏れ）（1件）

(6) エアゾール式簡易消火具

- ・ 依頼個数は229,224個で、前年度の376,641個に対し39.1%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

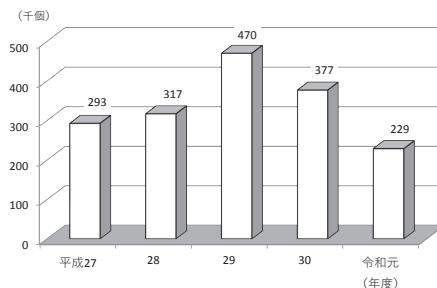


図-23 エアゾール式簡易消火具

4. 認定評価業務関係

4-1. 型式評価・型式変更評価・確認評価

(1) 自動火災報知設備の地区音響装置

- ・ 依頼件数は1件で、前年度は0件でした。
- ・ 不合格は0件でした。

(2) 非常警報設備の非常ベル及び自動式サイレン

- ・ 依頼件数は20件で、前年度は11件でした。
- ・ 不合格は0件でした。

(3) 非常警報設備の放送設備

- ・ 依頼件数は11件で、前年度は14件でした。
- ・ 不合格は1件でした。

不良内容

ア 警報出力音圧レベルが規定値未満であるもの（1件）

(4) パッケージ型自動消火設備及び同構成部品

- ・ 依頼件数は前年度と同様0件でした。

(5) 総合操作盤

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(6) 易操作性1号消火栓

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(7) 2号消火栓・補助散水栓

- ・依頼件数は0件で、前年度は1件でした。

(8) 広範囲型2号消火栓

- ・依頼件数は5件で、前年度は2件でした。

- ・不合格は1件でした。

不良内容

ア 消防用ホースの操作力試験において、当該操作力が規定値を超えるもの（1件）

(9) ノズル

- ・依頼件数は4件で、前年度は5件でした。

- ・不合格は0件でした。

(10) 消防用ホースと結合金具の装着部

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(11) 放水型ヘッド等スプリンクラー設備

- ・依頼件数は2件で、前年度は1件でした。

- ・不合格は0件でした。

(12) 特定駐車場用泡消火設備

- ・依頼件数は4件で、前年度は25件でした。

- ・不合格は0件でした。

4-2. 型式適合評価・確認評価

(1) 自動火災報知設備の地区音響装置

- ・ 依頼個数は336,021個で、前年度の417,617個に対し19.5%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

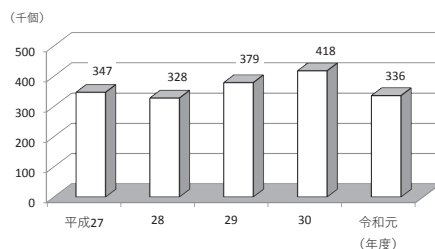


図-24 自動火災報知器設備の地区音響装置

(2) 非常警報設備の非常ベル及び自動式サイレン

- ・ 依頼個数は61,223個で、前年度の76,170個に対し19.6%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

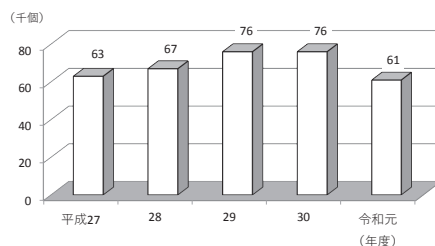


図-25 非常警報設備の非常ベル及び自動式サイレン

(3) 非常警報設備の放送設備

- ・ 依頼個数は1,228,757個で、前年度の1,166,020個に対し5.4%増加した。
- ・ 不合格は1件100個でした。

不良内容

ア 音圧レベルが50dB未満のもの(1件)

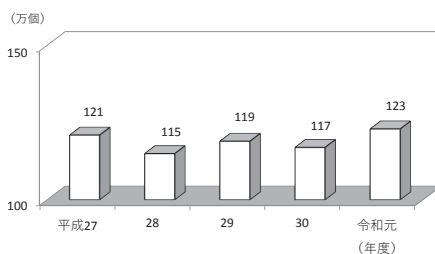


図-26 非常警報設備の放送設備

(4) パッケージ型自動消火設備及び同構成部品

- ・ 依頼個数は前年度と同様0個でした。

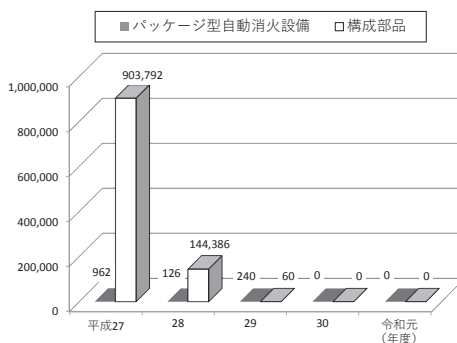


図-27 パッケージ型自動消火設備及び同構成部品

検定協会だより 令和2年7月

(5) 総合操作盤

- ・依頼件数は前年度と同様0件でした。

(6) 易操作性1号消火栓

- ・依頼個数は35,409個で、前年度の35,923個に対し1.4%減少した。

- ・不合格は1件50個でした。

不良内容

ア 耐圧試験において、水路部分に滴下する漏水を生ずるもの（1件）

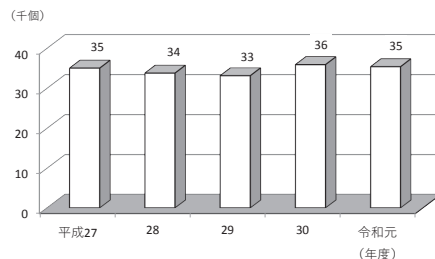


図-28 易操作性1号消火栓

(7) 2号消火栓・補助散水栓

- ・依頼個数は25,418個で、前年度の24,553個に対し3.5%増加した。

- ・不合格はなかった。

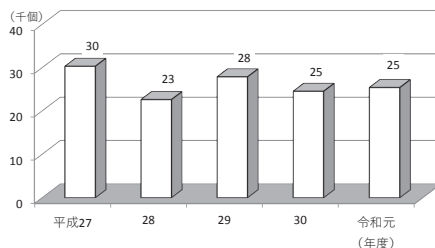


図-29 2号消火栓・補助散水栓

(8) 広範囲型2号消火栓

- ・依頼個数は8,623個で、前年度の7,382個に対し16.8%増加した。

- ・不合格はなかった。

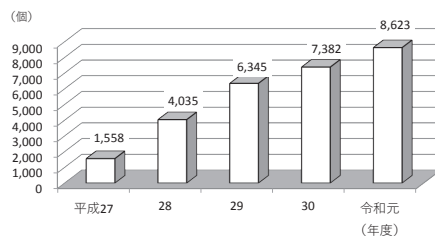


図-30 広範囲型2号消火栓

(9) ノズル

- ・依頼個数は118,916個で、前年度の115,858個に対し2.6%増加した。

- ・不合格はなかった。

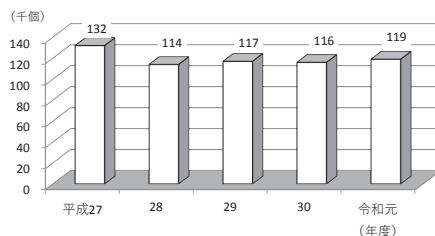


図-31 ノズル

(10) 消防用ホースと結合金具の装着部

- ・ 依頼個数は553,116個で、前年度の626,765個に対し11.8%減少した。
- ・ 不合格はなかった。

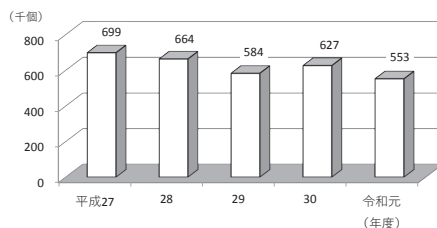


図-32 消防用ホースと結合金具の装着部

(11) 放水型ヘッド等スプリンクラー設備

- ・ 1号評価を受けた放水型ヘッド等スプリンクラー設備の主要構成装置の型式適合評価依頼は、放水部は4,376個で前年度の3,397個に対し28.8%増加、感知部は196個で前年度の188個に対し4.3%増加、制御部は2,125個で前年度の1,590個に対し33.6%増加した。また、手動操作部は291個で前年度の215個に対し35.3%増加、受信部は2個で前年度の5個に対し60.0%減少した。

全体の依頼個数は、6,990個で前年度の5,395個に対し、29.6%増加した。

- ・ 不合格はなかった。

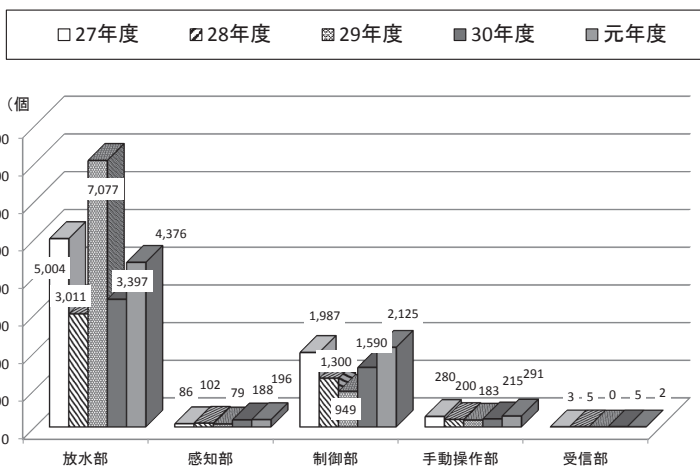


図-33 放水ヘッド等スプリンクラー設備

(12) 特定駐車場用泡消火設備

- ・ 依頼個数は116,982個で、前年度の108,483個に対し7.8%増加した。
- ・ 不合格は1件1,950個でした。

不良内容

- ア 組立荷重において荷重の偏差が+50%を超えるもの（1件）

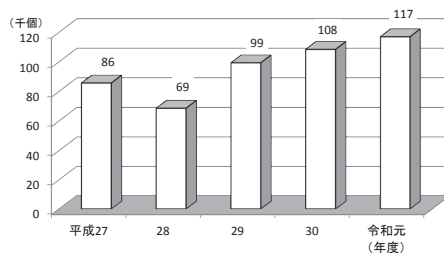


図-34 特定駐車場用泡消火設備

5. 特定機器評価業務

5-1. 総合評価

- ・ 依頼件数は7件で、前年度は1件でした。

5-2. 型式評価・型式変更評価

- ・ 依頼件数は3件で、前年度は2件でした。
- ・ 不合格は0件でした。

5-3. 型式適合評価

- ・ 依頼個数は284,638個で前年度は391,354個でした。
- ・ 不合格は1件5個でした。

不良内容

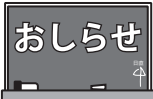
- ア ロープ強度試験でロープが破断した（1件）

6. 特殊消防用設備等の性能に関する評価

- ・ 依頼件数は前年度と同様0件でした。

7. 特例の評価依頼

- ・ 依頼件数は3件で、前年度は1件でした。



有効期限を経過した受託評価品目

【特定初期拡大抑制機器】

型式番号	承認年月日	住 所	依 頼 者	有効期限の 終期日
特評第218号	H16.10.25	東京都港区白金台5丁目17番2号	ヤマトプロテック株式会社	R1.10.24
特評第239号	H22.6.16	福岡市南区清水4丁目19番18号	株式会社水防協	R2.6.15

上記の機械器具等が、型式に係る有効期限を経過しましたのでお知らせします。

上記の機械器具等は、有効期限の終期日以降、当該型式に基づく製品について、新たに当協会の型式適合評価を受け、合格表示が行われることはありません。

既に設置され又は型式適合評価を受け合格表示が行われた上記の機械器具等については、型式適合評価時において基準への適合性が確認されており、適正な設置及び維持管理がされていれば、当該有効期限の経過による使用への影響はありません。

■■業界の動き■■

- 会議等開催情報 -

◆（一社）日本火災報知機工業会◆

○業務委員会（令和2年6月11日）

- ・定例理事会（書面開催）の結果の概要について
- ・定時総会（書面開催）の結果の概要について
- ・住宅用火災警報器関連の報告他
検定申請個数等の定例報告
- ・消防機器等製品情報センター運営会議
議事概要について
- ・事務局長会議議事概要について
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏
まえた協会における申請手続きの対応
について（日本消防検定協会）
- ・委員長連絡会報告

○メンテナンス委員会

（令和2年6月16日）

- ・点検実務検討小委員会報告
- ・委員長連絡会報告

○技術委員会（令和2年6月18日）

- ・火報システム技術検討小委員会報告
- ・特小用途拡大検討小委員会報告
- ・委員長連絡会報告

○設備委員会（令和2年6月25日）

- ・設備性能基準化小委員会報告

- ・工事基準書改訂小委員会報告
- ・委員長連絡会報告

○システム企画委員会

（令和2年6月26日）

- ・火報企画小委員会報告
- ・火災報知システム自主管理専門委員会
報告
- ・委員長連絡会報告

○住宅防火推進委員会

（令和2年6月24日）

- ・交換推進WGについて
- ・第111回全国消防長会予防委員会消防
庁講演資料について
- ・住宅防火推進シンポジウム等開催中止
について
- ・住宅用火災警報器検定申請数について
- ・お客様電話相談室受付結果について
- ・委員長連絡会について

◆（一社）日本消火器工業会◆

○第1回 PR委員会

（令和2年6月15日）

※ 書面会議による実施

- ・「消火器のしおり」について
- ・国際福祉機器展等イベントの中止につ
いて

○第3回 技術委員会

協会通信

(令和2年6月22日)

- ・型式適合検定について

○第3回 企業委員会

(令和2年6月24日)

- ・消火器の申請・回収状況
- ・令和2年度 役員・委員の交代について
- ・高性能消火器型式取得について
- ・コンプライアンスルール推進委員会報告
- ・厨房用簡易型自動消火装置の技術基準ガイドラインについて
- ・消防機器海外展開支援センターについて
- ・住宅防火対策の強化策の検討部会設置について (消防庁)

◆(一社)日本消火装置工業会◆

○第405回「技術委員会」

(令和2年6月3日 書面開催)

- 1) 審議等依頼書(新講師登録の件他)
- 2) 第8回勉強会について
- 3) その他

○第187回「第一部技術分科会」(令和2年6月19日 日本消火装置工業会)

- 1) 新型コロナウイルスの影響により、分科会開催中止

○第182回「第二部技術分科会」

(令和2年6月18日 書面開催)

- 1) 一斉開放の機器点検等について
- 2) 「通知」消防消第164号(令和2年6月1日)について
- 3) その他

○第163回「第三部技術分科会」(令和2年6月16日 日本消火装置工業会)

- 1) 新型コロナウイルスの影響により、分科会開催中止

◆(一社)日本消防ポンプ協会◆

○大型技術委員会

(令和2年6月26日 web)

- ・R34給油口の配置について
- ・特定整備制度について
- ・その他

○表彰委員会 (令和2年6月8日)

- ・消防機器開発普及功労者表彰の候補者について
- ・その他

協会通信

検定協会だより 令和2年7月

新たに取得された型式一覧

型式承認

種 別	型 式 番 号	申 請 者	型 式	承認年月日
光電式スポット型 感知器（試験機能付）	感第 2020～12号	ニッタン株式会社	1種（24V、65mA）・非蓄積型、非防水型、普通型、再用型、散乱光式	R2.5.15
	感第 2020～13号	ニッタン株式会社	2種（24V、65mA）・非蓄積型、非防水型、普通型、再用型、散乱光式	R2.5.15
	感第 2020～14号	ニッタン株式会社	3種（24V、65mA）・非蓄積型、非防水型、普通型、再用型、散乱光式	R2.5.15
光電式スポット型 感知器	感第 2020～15号	ニッタン株式会社	1種（24V、65mA）・非蓄積型、非防水型、普通型、再用型、散乱光式	R2.5.15
	感第 2020～16号	ニッタン株式会社	2種（24V、65mA）・非蓄積型、非防水型、普通型、再用型、散乱光式	R2.5.15
	感第 2020～17号	ニッタン株式会社	3種（24V、65mA）・非蓄積型、非防水型、普通型、再用型、散乱光式	R2.5.15
差動式スポット型 感知器	感第 2020～20号	ヤマトプロテック 株式会社	2種（24V、55mA）、非防水型、普通型、再用型	R2.6.19
GP型1級受信機 （蓄積式）	受第 2020～1号	能美防災株式会社	交流100V、外部配線抵抗50Ω、公称蓄積時間60秒	R2.6.4
光電式住宅用 防災警報器	住警第 2020～6号	新コスモス電機 株式会社	電池方式、2種（DC3V、300mA）、自動試験機能付	R2.5.21
定温式住宅用 防災警報器	住警第 2020～7号	矢崎エナジーシステム株式会社	電池方式（DC3V、93mA）、自動試験機能付	R2.6.11

品質評価 型式評価

種 別	型 式 番 号	依 頼 者	型 式	承認年月日
特殊消防ポンプ自動車 又は特殊消防自動車 に係る特殊消火装置	MC-2-26	株式会社モリタ	化学消防ポンプ自動車	R2.6.16

認定評価 型式評価

種 別	型 式 番 号	依 頼 者	型 式	承認 年月日
非常警報設備・ 複合装置	認評非第 2020～5号	パナソニック 株式会社	普通型、AC100V	R2.6.2
	認評非第 2020～6号	パナソニック 株式会社	防雨型、AC100V	R2.6.2
非常警報設備・ 一体型	認評非第 2020～7号	能美防災株式会社	普通型、DC24V	R2.6.15
	認評非第 2020～8号	能美防災株式会社	防雨型、DC24V	R2.6.15
非常警報設備・ スピーカー	認評放第 2020～2号	株式会社 JVCケンウッド・ 公共産業システム	コーン型 (1W/3W/6W・L級)、音響パワー レベル92dB	R2.6.24

検定協会だより 令和2年7月

検定対象機械器具等申請一覧表

種別	型式試験 申請件数	型式変更試験 申請件数	型式適合検定				
			申請件数	申請個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
消火器	大型	0	0	22	2,904	111.4	97.6
	小型	0	2	60	265,705	69.0	86.1
消火器用消火薬剤	大型用	0		1	10	27.8	69.9
	小型用			14	14,518	77.6	110.8
泡消火薬剤		1		22	110,440	119.0	122.0
感知器	差動式スポット型	0	0	37	271,271	115.6	109.1
	差動式分布型	0	0	12	7,620	111.1	97.8
	補償式スポット型	0	0	1	300	皆増	230.0
	定温式感知線型	0	0	0	0	-	-
	定温式スポット型	0	0	38	127,086	131.2	115.7
	熱アナログ式スポット型	1	0	9	9,489	198.8	112.1
	熱複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	イオン化式スポット型	0	0	1	212	皆増	156.0
	光電式スポット型	4	0	42	141,428	95.1	102.1
	光電アナログ式スポット型	0	0	19	48,705	89.1	96.9
	光電式分離型	0	0	7	330	165.0	128.6
	光電アナログ式分離型	0	0	2	12	12.0	106.3
	光電式分布型	0	0	0	0	-	-
	光電アナログ式分布型	0	0	0	0	-	皆増
	煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	熱煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	皆増
	紫外線式スポット型	0	0	1	100	皆増	300.0
	赤外線式スポット型	0	0	3	355	48.6	98.4
	紫外線赤外線併用式スポット型	0	0	0	0	皆減	50.0
	炎複合式スポット型等	0	0	0	0	-	-
発信機	P型1級	1	0	11	21,712	102.9	121.0
	P型2級	0	0	11	6,468	145.2	134.5
	T型	0	0	0	0	-	-
	M型	0	0	0	0	-	-
中継器		0	0	92	44,886	119.9	107.1
受信機	P型1級	0	0	52	2,399	104.5	100.6
	P型2級	0	2	20	5,637	93.6	92.7
	P型3級	0	0	1	50	皆増	皆増
	M型	0	0	0	0	-	-
	R型	1	0	10	103	85.8	104.0
	G型	0	0	1	1	12.5	37.5
	GP型1級	0	0	7	9	36.0	75.5
	GP型2級	0	0	0	0	-	-
	GP型3級	4	0	12	28,690	60.5	69.5
GR型	0	0	16	213	83.2	86.9	
閉鎖型スプリンクラーヘッド		0	0	34	152,570	84.9	71.3
流水検知装置		0	0	39	1,842	80.9	105.1
一斉開放弁		4	0	23	1,477	77.0	40.9
金属製避難はしご	固定はしご	0	0	2	50	125.0	88.5
	立てかけはしご	0	0	0	0	-	-
	つり下げはしご	0	0	18	7,074	57.6	68.2
緩降機		0	0	4	319	69.3	65.2
住宅用防災警報器	定温式住宅用防災警報器	0	0	16	82,020	129.7	109.9
	イオン化式住宅用防災警報器	0	0	0	0	-	-
	光電式住宅用防災警報器	0	0	30	332,110	170.6	83.5
合計	16	4	690	1,688,115	104.2	93.1	

※前年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

性能評価申請一覧表

特殊消防用設備等性能評価業務	性能評価申請件数	性能評価変更申請件数
特殊消防用設備等の性能に関する評価	0	0

受託評価等依頼一覧表

品質評価業務	型式評価依頼件数	型式変更評価依頼件数	更新等依頼件数	型式適合評価			
				依頼件数	依頼個数	対前年同月比(%)	対前年累計比(%)
補助警報装置及び中継装置	0	0	0	0	0	-	-
音響装置	0	0	0	2	850	170.0	130.0
予備電源	0	0	0	2	23,000	107.9	77.1
外部試験器	0	0	0	2	30	25.6	115.7
放火監視機器	放火監視センサー	0	0	2	994	270.8	206.2
	受信装置等	0	0	0	0	-	皆減
光警報装置		0	0	0	0	-	皆減
	光警報制御装置	0	0	1	50	皆増	180.0
屋外警報装置		0	0	0	0	-	-
	屋外警報装置に接続する中継装置	0	0	0	0	-	-
消火器加圧用ガス容器	0	0	0	4	20,600	27.5	83.8
蓄圧式消火器用指示圧力計	0	0	0	5	321,000	83.8	102.1
消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁	0	0	2	7	3,872	73.8	73.0
消火設備用消火薬剤	0	0	0	7	76,311	89.3	92.7
住宅用スプリンクラー設備		0	0	0	0	-	-
	構成部品	0	0	0	0	-	-
動力消防ポンプ	消防ポンプ自動車	0	0	4	16	27	93.1
	可搬消防ポンプ	0	0	0	4	241	63.8
消防用吸管	呼称65を超えるもの	0	0	0	1	160	35.6
	呼称65以下のもの	0	0	0	1	20	40.0
消防用ホース	平 40を超えるもの	0	0	8	12	7,930	51.2
	平 40以下のもの	2	0	1	9	15,204	84.2
	濡れ	0	0	0	0	0	-
	保形	1	0	0	4	6,000	109.1
消防用結合金具	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	0	皆減
	差込式	0	0	0	31	84,264	132.1
	ねじ式	0	0	2	24	11,612	105.4
	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	0	-
漏電火災警報器	変流器	0	0	0	13	2,958	116.0
	受信機	0	0	0	6	1,789	80.7
エアゾール式簡易消火具	0	0	0	2	30,296	303.3	
特殊消防ポンプ自動車	0	0	0	2	2	50.0	
特殊消防自動車				1	1	皆増	
可搬消防ポンプ積載車	0	0	0	0	0	-	
ホースレイヤー	0	0	0	0	0	皆減	
消防用積載はしご	0	0	0	10	345	236.3	
消防用接続器具	0	0	0	14	2,783	187.9	
品質評価業務				確認評価			
				依頼件数	依頼個数	対前年同月比(%)	対前年累計比(%)
外部試験器の校正				8	39	114.7	122.2
オーバーホール等整備				4	4	皆増	54.5

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。
 ※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。
 ※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

令和2年6月

認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価				
					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
地区音響装置		1	0	0	25	27,713	103.9	98.4	
非常警報設備	非常ベル及び自動式サイレン	0	0	0	50	6,505	120.6	102.2	
	放送設備	0	0	3	61	79,774	88.7	103.8	
パッケージ型自動消火設備		0	0	0	0	0	-	-	
構成部品		0	0	0	0	0	-	-	
総合操作盤		0	0	0	0	0	-	-	
屋内消火栓等	易操作性1号消火栓	0	0	0	13	2,171	69.6	92.4	
	2号消火栓	0	0	0	8	1,150	57.8	87.8	
	広範囲型2号消火栓	2	0	0	5	530	67.1	107.2	
	補助散水栓	0	0	0	0	0	-	-	
ノズル		0	0	0	27	8,030	170.9	113.0	
認定評価業務		装着番号付与 確認評価 依頼件数		更新等 依頼件数	製品確認評価				
屋内消火栓等		消防用ホースと結合金具の装着部	0	0	9	33,204	255.4	86.4	
認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価				
特定駐車場用泡消火設備		0	0	1	6	4,965	35.1	65.6	
認定評価業務		総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備(評価)		0					対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備・構成装置		0	0	0	7	7	41.2	55.1	
特定機器評価業務		総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
特定消防機器等		0	0	1	0	11	18,846	126.8	164.2
受託試験及びその他の評価		依頼件数				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)
受託試験(契約等)		0							
受託試験(その他の契約等)						1	1	100.0	50.0
評価依頼(基準の特例等)		0							

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

梅雨前線による線状降水帯の連続的な発生などにより、我が国ではこれまで大きな災害に見舞われてきています。

近年の梅雨の時期では、平成29年6月から7月にかけて発生した「九州北部豪雨等」（福岡県、大分県）や平成30年5月から7月にかけて発生した「平成30年7月豪雨等」（岡山県、広島県、愛媛県）などが甚大な被害をもたらした災害として記憶に残ります。また、台風による災害では、東日本の広範囲に大きな被害をもたらした令和元年の台風は記憶に新しいところです。

このような災害から人命を守るためには、正確な災害発生の予測とそれに基づく避難指示などの適切な災害情報の発信・伝達、早めの避難行動が重要になります。

さらに、令和2年度は、災害時の避難所開設にあ

たり新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、これまで以上の感染症対策が必要となっていることから、避難所を開設する市町村は、「避難所開設・運営訓練ガイドライン」などを通じて災害対応に万全を期すことが求められているなか、令和2年7月、九州地方を中心に大規模な豪雨災害に見舞われてしまいました。被災された方々に心中よりお見舞い申し上げます。

さて、今月号では、高知市消防局長の本山和平様から巻頭のことばをいただき、誠にありがとうございました。

8月号では、札幌市消防局長の岡本征仁様には巻頭のことばを、大阪市消防局予防部からは「令和元年中の規制対象物における火災発生状況（その1）」を、当協会からは「令和元年度の決算概要」などを掲載する予定です。

検定協会からのお願い

検定協会では、消防用機械器具等について検定及び受託評価を行い、性能の確保に努めているところですが、さらに検定及び受託評価方法を改善するため、次の情報を収集しています。心あたりがございましたら、ご一報下さいますようお願いいたします。

- (1) 消防用機械器具等の不動作、破損等、性能上のトラブル例

- (2) 消防用機械器具等の使用例（成功例又は失敗例）

連絡先 東京都調布市深大寺東町 4-35-16
日本消防検定協会 企画研究課
電 話 0422-44-8471（直通）
E-mail
<kikenka@jfeii.or.jp>

発行 日本消防検定協会

<http://www.jfeii.or.jp>



本 所 〒182-0012 東京都調布市深大寺東町 4-35-16
TEL 0422-44-7471(代) FAX 0422-47-3991



大 阪 支 所 〒530-0057 大阪市北区曽根崎 2-12-7 清和梅田ビル 4 階
TEL 06-6363-7471(代) FAX 06-6363-7475



虎ノ門事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-9-16 日本消防会館 9 階
TEL 03-3593-2991 FAX 03-3593-2990

検定協会だよりはホームページでもご覧になれます。

当該刊行物にご意見・ご要望・ご投稿がありましたら、本所の企画研究部情報管理課検定協会だより事務局までお問い合わせください。
e-mail : kikaku@jfeii.or.jp 専用 FAX 0422-44-8415

